



国道353号(村上工区) 落石対策



千石沢3 土石流対策



県道分郷八崎寄居線(真壁工区) 歩道整備

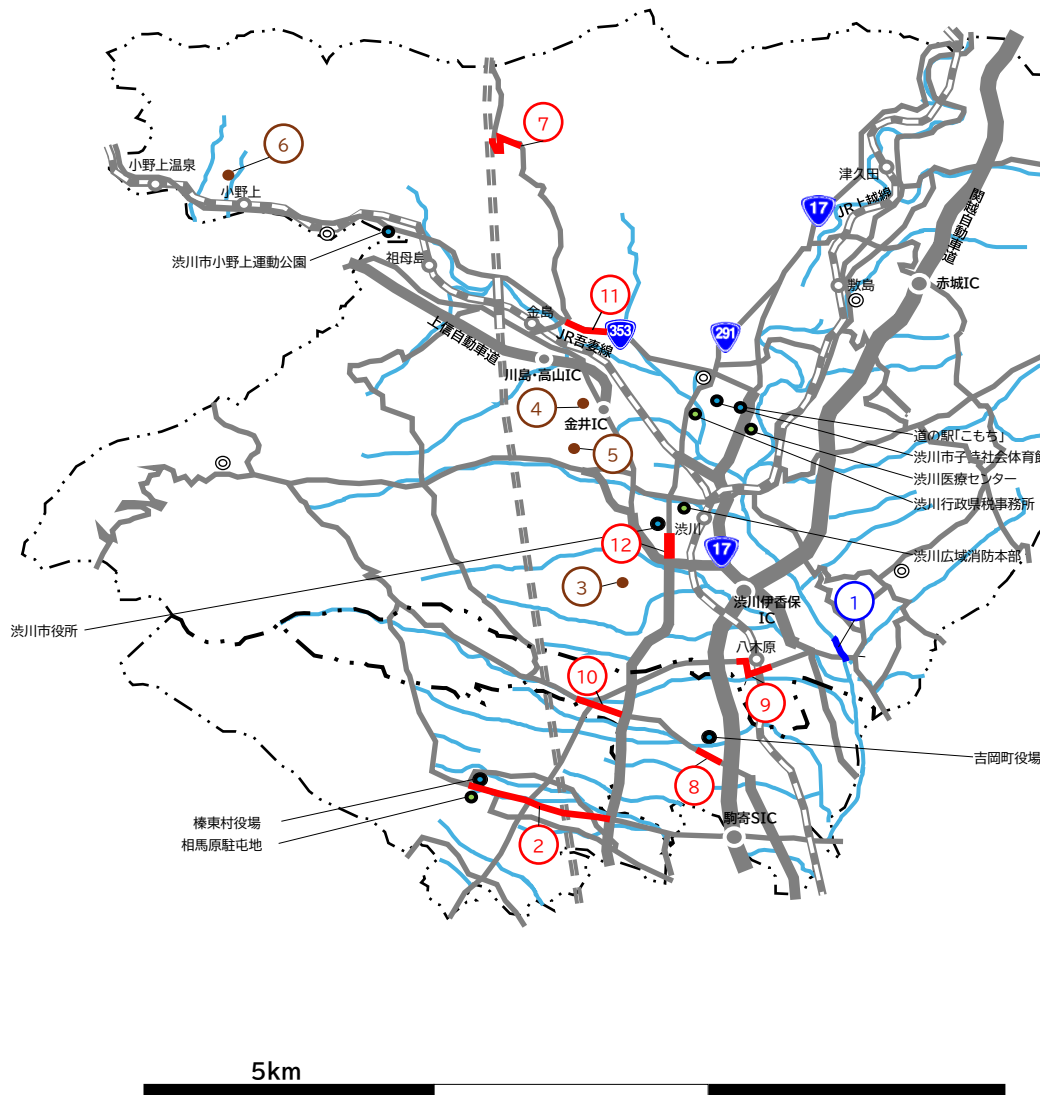
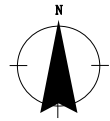
よくわかる 公共事業

～ 公共事業の目的、効果、進捗状況を情報発信 ～

北群馬渋川地域

令和7年度版

北群馬渋川地域



凡 例	
【事業分野区分】	
—	道路事業
—	河川事業
●	砂防事業
●	その他事業(下水、住宅等)
【その他】	
●	主要な防災拠点(第1次防災拠点)
●	主要な防災拠点(第1次防災拠点以外)
●	主要な物流拠点(産業団地)

番号	事業内容	施工箇所	路河川名	ページ 番号
1	河川改修	渋川市半田	一級河川利根川(半田工区)	1
2	バイパス整備	榑東村新井	県道南新井前橋線(4期工区)	2
3	土石流対策	渋川市行幸田	尻谷沢	3
4		渋川市金井	下町の沢	4
5		渋川市渋川	袋沢-2	5
6	地すべり対策	渋川市村上	上中尾地区	6
7	線形改良	渋川市小野子	県道渋川下新田線(小野子工区)	7
8	歩道整備	吉岡町大久保	県道前橋伊香保線(大久保工区)	8
9		渋川市八木原	県道高崎安中渋川線(八木原工区)	9
10		吉岡町上野田	県道前橋伊香保線(上野田工区)	10
11		渋川市北牧	国道353号(北牧工区)	11
12		渋川市石原	(都)渋川高崎線(街中工区)	12

どのような未来を目指すための事業か

河川氾濫による水害リスクを軽減するため

堤防を嵩上げて
流せる水の量を増やします

地元
の声

・洪水の時に不安なので、堤防の高さが足りないところは高くしてほしい。（地元住民）

事業の概要

- 事業箇所：渋川市半田
 - 事業内容：堤防高上げ 延長約300m（右岸）
 - 事業期間：令和6年度～
 - 現況流下能力：約3,700m³/s
 - 計画流量：4,400m³/s
- ※事業延長は、詳細調査の結果で変更となる可能性があります。

事業前

- ◆ 右岸側の堤防が低く、背後には工場や人家が密集しているため、氾濫した場合には甚大な被害が想定されます。



事業前の状況

事業後

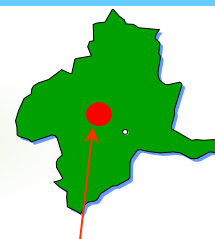
- ◆ 堤防を高くすることにより、河川の氾濫による浸水リスクを軽減します。



事業後のイメージ

成果を示す項目	実施前
想定氾濫面積	78.7ha
想定氾濫区域内の浸水戸数	107戸

実施後（目標）
0ha
0戸



事業位置
渋川市

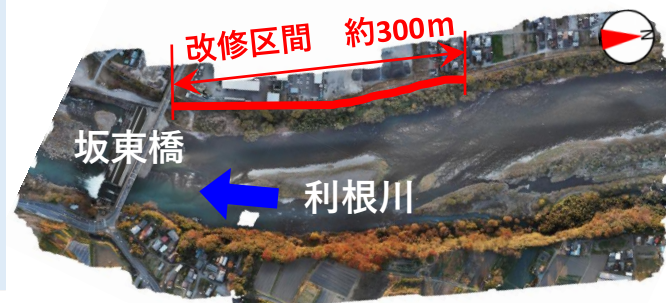


事業の進捗状況（令和7年3月末現在）



今、何をしているか

令和7年度は、用地調査を行います。



事業のすすみ具合

事業開始



事業完了

県道南新井前橋線（4期工区）バイパス整備事業

事業継続中

どのような未来を目指すための事業か

災害時にも機能する強靱な道路ネットワークを構築するため

バイパス道路を
つくります

地元
の声

- ・災害時の安全な通行を確保するため、駒寄スマートICへのアクセス性を向上してほしい。（地元住民）
- ・道路が狭く歩行者、自転車が危険に晒されているため、安全性を向上してほしい。（学校関係者）

事業の概要

- 事業箇所：榛東村新井
- 事業内容：バイパス整備 延長 2.6km 道路幅12.5m
- 事業期間：平成29年度～
- 緊急輸送道路：該当（第一次緊急輸送道路）
- 現在の交通量：5,258台/日（現道 自動車）
40台/日（現道 歩行者）
51台/日（現道 自転車）
- 計画交通量：4,900台/日（現道 自動車）
8,900台/日（バイパス 自動車）

事業前

- ◆ 道幅が狭い上、朝夕の通勤帰宅時間帯を中心に交通混雑が発生しており、緊急輸送道路でありながら、円滑な車両の走行に支障をきたしています。



事業前の状況

事業後

- ◆ 一般車をはじめ自衛隊車両等の緊急車両も、駒寄スマートICへの円滑なアクセスが可能になります。



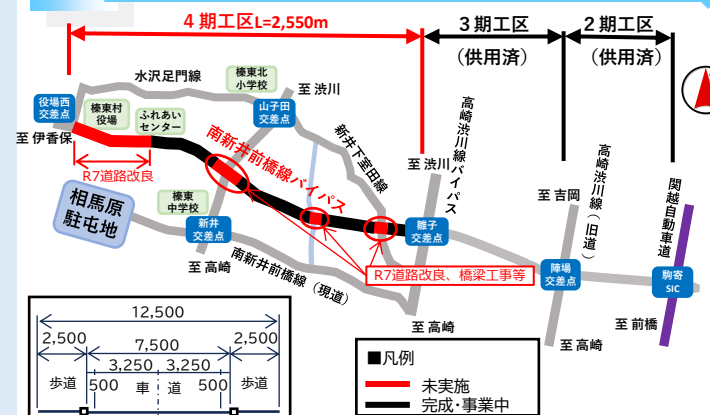
事業後のイメージ

成果を示す項目	実施前
移動時間（相馬ヶ原駐屯地→駒寄IC）	21分

実施後（目標）
9分（▲12分）



事業の進捗状況（令和7年3月末現在）



今、何をしているか

用地の取得が完了した箇所から順次道路改良工事を進めています。
令和7年度は、道路改良工事、橋梁工事を推進します。



どのような未来を目指すための事業か

土砂災害リスクを軽減するため

**砂防堰堤を
つくります**

**地元
の声**

・近年の集中豪雨による土石流に対して、不安を抱いている。(地元住民)

事業の概要

- 事業箇所: 渋川市行幸田
- 事業内容: 砂防堰堤 1基
- 事業期間: 令和元年度～

事業前

- ◆ 渓流が荒廃しており、大雨等により土石流や流木が発生するおそれがあります。



事業前の状況

事業後

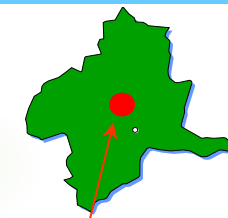
- ◆ 砂防堰堤の整備により、大雨等による土石流や流木の被害のリスクを軽減します。



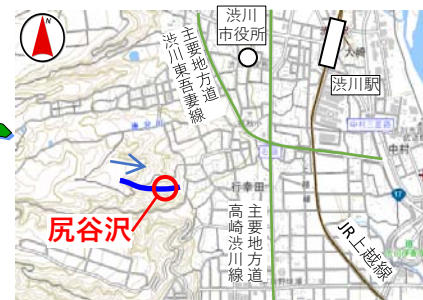
事業後のイメージ

成果を示す項目	実施前
被害を受けるおそれのある人家	96戸
被害を受けるおそれのある重要施設等	1施設 (豊秋公民館)

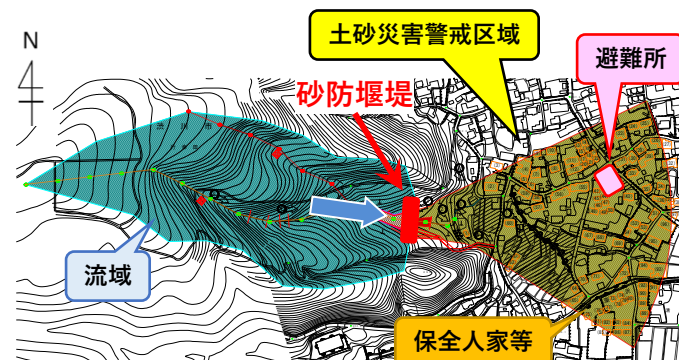
実施後(目標)
0戸
0施設



事業位置
渋川市



事業の進捗状況(令和7年3月末現在)



今、何をしているか

令和7年度は、堰堤下流側の護岸工事を実施します。



どのような未来を目指すための事業か

土砂災害リスクを軽減するため

砂防堰堤を
つくります地元
の声

・近年の集中豪雨による土石流に対して、不安を抱いている。(地元住民)

事業の概要

- 事業箇所: 渋川市金井
- 事業内容: 砂防堰堤 1基
- 事業期間: 令和元年度～

事業前

- ◆ 渓流が荒廃しており、大雨等により土石流や流木が発生するおそれがあります。



事業前の状況

事業後

- ◆ 砂防堰堤の整備により、大雨等による土石流や流木の被害のリスクを軽減します。



事業後のイメージ

成果を示す項目	実施前
被害を受けるおそれのある人家	6戸
被害を受けるおそれのある重要施設等	1施設 (老人ホーム)

実施後(目標)
0戸
0施設

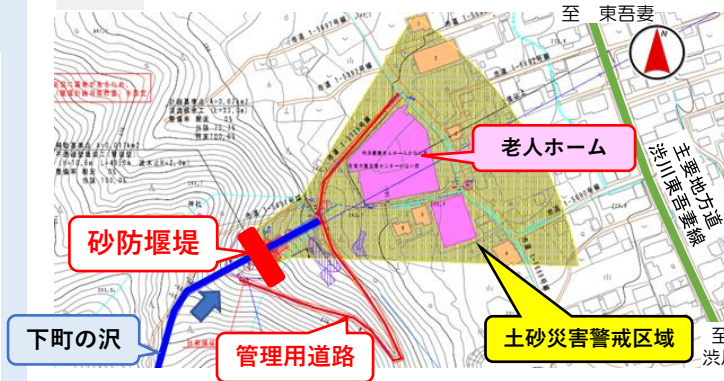
事業のすすみ具合

事業開始

事業完了



事業の進捗状況(令和7年3月末現在)



今、何をしているか

令和7年度は管理用道路の整備を進めるとともに、砂防堰堤の工事に着手します。



どのような未来を目指すための事業か

土砂災害リスクを軽減するため

砂防堰堤を
つくります

地元
の
声

・近年の集中豪雨による土石流に対して、不安を抱いている。(地元住民)

事業の概要

- 事業箇所: 渋川市渋川
- 事業内容: 砂防堰堤 2基
- 事業期間: 令和2年度～

事業前

- ◆ 渓流が荒廃しており、大雨等により土石流や流木が発生するおそれがあります。



荒廃状況



荒廃状況

事業前の状況

事業後

- ◆ 砂防堰堤の整備により、大雨等による土石流や流木の被害のリスクを軽減します。



事業後のイメージ

成果を示す項目

実施前

被害を受けるおそれのある重要施設等

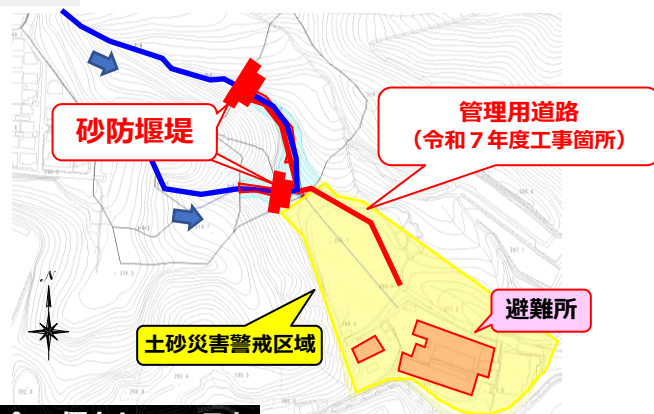
1施設
(渋川西小学校)

実施後(目標)

0施設



事業の進捗状況(令和7年3月末現在)



今、何をしているか

令和7年度は、管理用道路の工事を実施します。



事業のすすみ具合

事業開始

事業完了

どのような未来を目指すための事業か

土砂災害リスクを軽減するため

地すべり防止施設をつくります

地元の声

- ・早期に対策工事を行って安心して暮らせるようにしてほしい。(地元住民)
- ・大雨の時に地すべりが起こらないか不安。(地元住民)

事業の概要

- 事業箇所: 渋川市村上
- 事業内容: 横ボーリング工
- 事業期間: 令和6年度～

事業前

- ◆ 令和2年3月に小規模な亀裂が発生し、地すべりの兆候が見られました。



事業前の状況

事業後

- ◆ 横ボーリング工を整備し地下水を排除することで、地すべりによる被害のリスクを軽減します。



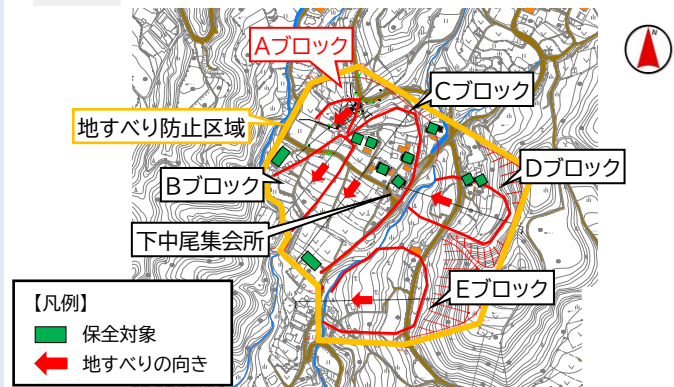
事業後のイメージ

成果を示す項目	実施前
被害を受けるおそれのある人家	10戸

実施後(目標)
0戸



事業の進捗状況(令和7年3月末現在)



今、何をしているか

令和7年度は、Aブロックの横ボーリング工事に着手します。



県道渋川下新田線（小野子工区）線形改良事業

事業継続中

どのような未来を目指すための事業か

安全で快適な移動を可能にするため

急カーブを
ゆるくします

地元の
声

- ・「道の駅中山盆地」へ行く際に利用するので、急カーブを無くしてほしいです。（地元住民）
- ・日当たりが悪く冬場は路面が凍結するため、線形が改善されることを期待します。（地元住民）

事業の概要

- 事業箇所: 渋川市小野子
- 事業内容: 線形改良 延長 1.1km 道路幅 7.5m
- 事業期間: 平成25年度～

- 現在の交通量: 3,643台/日(自動車)
(R3年度) 18人/12時間(歩行者)
1台/12時間(自転車)

事業前

- ◆ 急カーブが連続し、とくに冬場では路面が凍結するため、危険な状況です。



事業前の状況

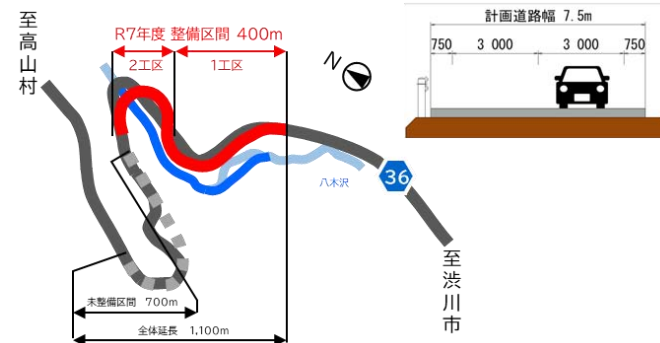
事業後

- ◆ 急カーブが改善され、安全に走行できるようになります。



事業後のイメージ

事業の進捗状況(令和7年3月末現在)



今、何をしているか

令和7年度は、道路改良工事を実施します。



事業のすすみ具合

事業開始●

.....● 事業完了

県道前橋伊香保線（大久保工区）歩道整備事業

事業継続中

どのような未来を目指すための事業か

こどもたちが安心して通学できる環境を確保するため

歩道を整備します

地元の声

- ・歩道がないので、登下校時に何度も怖い思いをした。（地元中学生）
- ・児童、生徒が歩くすぐ横を車が走るの、事故が起きないか心配です。（地元住民）

事業の概要

- 事業箇所: 吉岡町大久保
- 事業内容: 歩道整備 延長500m、幅員2.5m
- 事業期間: 令和29年度～

■現在の交通量: 17,106台/日(自動車)
(R3年度) 55人/12時間(歩行者)
65台/12時間(自転車)

事業前

- ◆ 歩道が無く、通学する児童等は路肩を歩くため、交通事故のおそれがあります。



事業前の状況

事業後

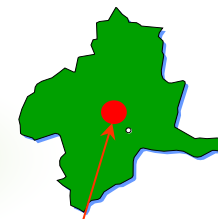
- ◆ 歩道を設置することで、通学する児童等の安全な通行空間を確保します。



事業後のイメージ

成果を示す項目	実施前
法指定通学路の歩道整備率	0%
幅員2m以上歩道の整備率	0%

実施後(目標)
100%
100%



事業位置
吉岡町



事業箇所

事業の進捗状況(令和7年3月末現在)



今、何をしているか

令和7年度は、歩道整備工事を行います。



県道高崎安中渋川線（八木原工区）歩道整備事業

事業継続中

どのような未来を目指すための事業か

こどもたちが安心して通学できる環境を確保するため

歩道を整備します

地元の声

- ・歩道がないので、登下校時に何度も怖い思いをした。（地元中学生）
- ・児童、生徒が歩くすぐ横を車が走るの、事故が起きないか心配。（地元住民）

事業の概要

- 事業箇所：渋川市八木原～半田
- 事業内容：歩道整備 延長750m、自転車通行帯1.5m 歩道幅員2.5m
- 事業期間：令和元年度～
- 現在の交通量：5,919台/日（自動車）
26人/12時間（歩行者）
34台/12時間（自転車）

事業前

- ◆ 歩道が無く、通学する児童等は路肩を歩くため、交通事故のおそれがあります。



事業前の状況

事業後

- ◆ 歩道を設置することで、通学する児童等の安全な通行空間を確保します。



事業後のイメージ

成果を示す項目	実施前
幅員2m以上歩道の整備率	0%

実施後（目標）
100%

事業の進捗状況（令和7年3月末現在）



今、何をしているか

令和7年度は、用地取得、歩道整備工事を進めます。



事業のすすみ具合

事業開始



事業完了

県道前橋伊香保線（上野田工区）歩道整備事業

事業継続中

どのような未来を目指すための事業か

こどもたちが安心して通学できる環境を確保するため

歩道を整備します

地元の声

- ・歩道がない箇所があり、歩行者の横を車が通行するため、危ない。（地元住民）
- ・歩道が狭く、車と歩行者との距離が近い。危ないため、歩道を広くしてほしい。（地元住民）

事業の概要

- 事業箇所：吉岡町上野田
- 事業内容：歩道整備 延長800m、幅員2.5m
- 事業期間：令和5年度～

■現在の交通量： 6,039台/日(自動車)
66人/12時間(歩行者)
31台/12時間(自転車)

事業前

- ◆ 片側しか歩道がないうえ、幅員が狭く児童たちがすれ違う時に車道側を通行せざるを得ない状況から、交通事故のおそれがあります。



事業前の状況

事業後

- ◆ 歩道を広げることで、通学する児童等の安全な通行空間を確保します。



事業後のイメージ

成果を示す項目	実施前
幅員2m以上歩道の整備率	50%

実施後(目標)
100%

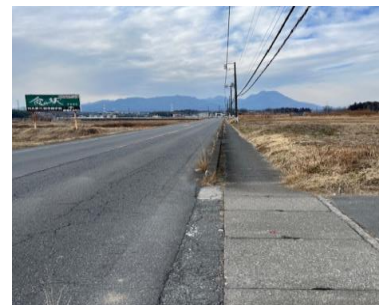


事業の進捗状況(令和7年3月末現在)



今、何をしているか

令和7年度は、用地取得と、西側から歩道整備工事を行います。



事業のすすみ具合

事業開始



事業完了

国道353号（北牧工区）歩道整備事業

事業継続中

どのような未来を目指すための事業か

こどもたちが安心して通学できる環境を確保するため

歩道を設置します

地元の声

- ・児童の通学路のため、歩道整備し安全を確保してほしい。（学校関係者）
- ・車道の幅が狭く、見通しが悪い上にスピードを出す車が多いため、大変危険です。（地元住民）

事業の概要

- 事業箇所：渋川市北牧
- 事業内容：歩道整備 延長1,200m、自転車通行帯1.5m 歩道幅員2.5m
- 事業期間：令和4年度～

■ 現在の交通量：13,360台/日（自動車）
24人/12時間（歩行者）
1台/12時間（自転車）

事業前

- ◆ 歩道が狭く、通学する児童等は路肩を歩くため、交通事故のおそれがあります。



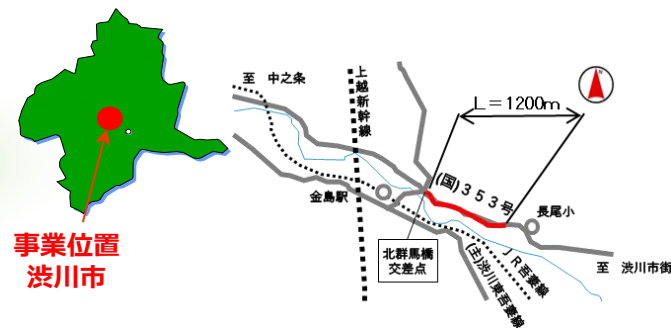
事業前の状況

事業後

- ◆ 車道と歩道が分離されることで、通学する児童等の安全な通行空間を確保します。

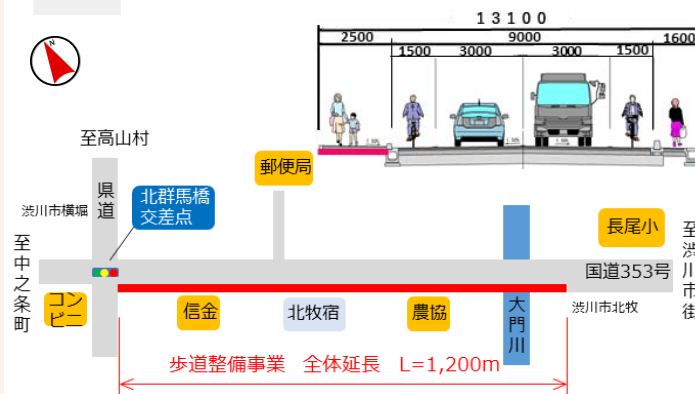


事業後のイメージ



事業位置
渋川市

事業の進捗状況（令和7年3月末現在）



今、何をしているか

令和7年度は建物等の補償金を算定するための調査を行います。



成果を示す項目	実施前
幅員2m以上歩道の整備率	0%

実施後（目標）
100%

事業のすすみ具合

事業開始



事業完了

(都) 渋谷高崎線 (街中工区) 歩道整備事業

事業継続中

どのような未来を目指すための事業か

こどもたちが安心して通学できる環境を確保するため

歩道と自転車通行帯
を設置します

地元の声

- ・小学校の通学路となっているため、登下校する児童の安全を確保してほしい。(地元住民、学校関係者)
- ・道が狭く自転車と車との接触が心配なので、自転車と車の通行を分けてほしい。(地元住民、学校関係者)

事業の概要

- 事業箇所: 渋谷市石原
- 事業内容: 歩道整備延長 660m
歩道幅2.0m 自転車通行帯2.0m
電線共同溝整備延長 1,320m
- 事業期間: 令和3年度～
- 現在の交通量: 7,616台/日(自動車)
(R3年度) 46人/12時間(歩行者)
32台/12時間(自転車)

事業前

◆県道には歩道がなく、通学児童はやむを得ず市道を通行しており、安全な通行空間が確保されていません。



事業前の状況

事業後

◆車道と歩道の分離と自転車通行帯の整備により、歩行者と自転車の安全な通行空間を確保するとともに、交通の円滑化を図ります。



事業後のイメージ

成果を示す項目	実施前
幅員2m以上歩道の整備率	18%
電柱倒壊のおそれ	あり

実施後(目標)
100%
なし

事業のすすみ具合

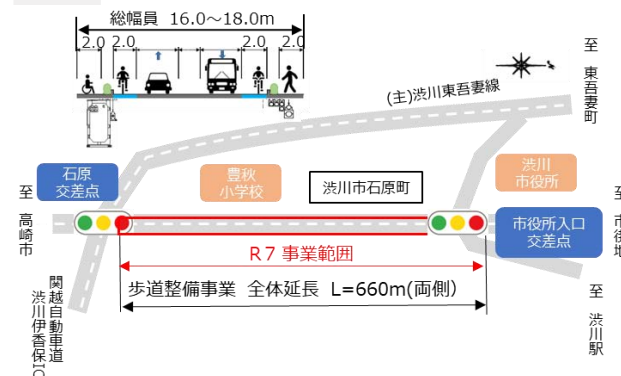
事業開始



事業完了



事業の進捗状況(令和7年3月末現在)



今、何をしているか

令和7年度は歩道整備に必要となる用地取得を行います。

